

サステナビリティをキーワードにしたモノづくり

岐セン株式会社

代表取締役社長
後藤勝則

令和3年9月3日(金)



岐セン株式会社 会社紹介

GISEN



会社概要

社名	岐セン株式会社
所在地	岐阜県瑞穂市牛牧758番地
創立	昭和18年1月15日
資本金	1億円
売上高	34億7,400万円（2020年3月実績）
従業員	242名（男性 178名、女性64名 4月現在）
事業内容	合繊複合織物の染色整理



1. 合繊複合織物の染色整理加工

- ・ファッション衣料、ユニホーム、官需制服等
- ・中東向け民族衣装用
- ・スエード調人工皮革

マクワバ -の加工技術は国内外で高い評価

2. 木材のツキ板染色

織物染色で培った技術を利用しツキ板の染色
国産高級車の内装木目パネルに使用される

3. 子会社「岐阜バイオマスパワー」が

間伐材を利用した木質バイオマス発電事業を2014年より開始
瑞穂市2万世帯をカバーできる。岐阜県林業活性化に寄与。



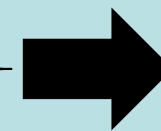
SDGsへの挑戦:きっかけ

染色整理業は、繊維産業のサプライチェーンを担うキーインダストリーである。

背景 一方で、①エネルギー多消費型産業、②排水などによる環境負荷が課題

染色業界の課題に対応することがコストダウンとなり、利益創出に繋がっている。

1. 資源有効利用と再利用
2. 環境保全(排水処理改善、排ガス、廃熱回収)
3. 省エネルギー技術
4. 化学薬品使用量低減
5. 石油・石炭依存からの脱却 → 循環可能な原料への切替
6. IT, AIの活用



継続的な取り組み
を実施していた。

きっかけ

繊維の川上企業(発注企業)が2017年秋のパリ プルミエール展で欧州の環境対応の強い要望があった。

- ・ EUへの輸出商品は、近年は環境対応をしていないと商談に臨めないことから、繊維業界全体でSDGsの取組が加速した。

SDGs開始年=2018年

3 すべての人に
健康と福祉を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



SDGsを意識した当社の取組について

①自社の既存の活動がサステナビリティ(持続可能な)社会への貢献をアピールする。

■当社の設備や今までに実施してきたことを結び付けてみると

- ・製造工程における省エネ、**排水の低減に継続的に取組みをしている。**
- ・環境に配慮したエネルギー利用を意識し、1981年にはバイオマスボイラー、2016年からは、本来焼却廃棄される廃棄物をリサイクル燃料(RPF/RDF)として使用するボイラーを導入している。
- ・隣接する子会社では、**2014年より木質バイオマス発電事業を開始し、資源循環型エネルギーの提供とCO2削減に貢献している。** 岐阜県林業活性化への貢献。
- ・太陽光発電、工場LED化、デッドストックの商品化

②新規の活動

商品開発
の考え方

自社の製造工程と製品使用時の環境対応を考慮する。
環境配慮型の機能性付与や染色加工技術を新規開発

当社商品の環境ブランド「ECOMO」を
2020年立上げ(商標登録済み)



製造時の取組

天然由来の原材料を使用

天然由来の原材料を使用して化学薬品
100%からの脱却への挑戦!!

色を付けるための染料、生地風の風合い、機能を付けるための薬剤は石油由来です。
染料、薬剤の一部を天然由来を使用することで、石油の使用量を削減します。



対象商品

コモプラント: 天然由来の染料を用いた染色加工

コモガードFFeco: ヤシの実由来の原料を用いた非フッ素撥水加工

フェイスィーcitrus: グレープフルーツ種子由来の抗菌剤を用いた抗菌防臭加工

コモメリア: 椿オイル配合の柔軟加工



環境配慮商品



コモプラント

製品使用時の環境負荷の低減

実は、消費者の方にもSDGsの取組に
参画してもらってるんですよ。

繊維に特殊加工を施すことで、家庭洗濯時の洗剤と水の使用量を削減できます。

対象商品

コモクリーンシリーズ(防汚加工)

汚れが付きにくい、又は落ちやすいため、洗濯回数を減らす、洗濯時間を短くする、洗剤使用量を減らすなどできます。

メイクールシリーズ(接触冷感加工)

発汗時に冷感効果が得られ、冷房温度の下げすぎを防ぐことができます。



油汚れの除去試験動画

- ・紙などの消耗品再利用などの身近な活動や、すぐにできることから始め、自社に合ったやり方で進める。
- ・SDGsの取組の中には、省エネや生産性を上げて加工コストを削減することにより取り組めるものがある。
- ・サステナビリティをキーワードにした開発商品を積極的に継続提案していく。
 - 現在までの取組は、欧米向けが中心である。
 - 国内は、繊維業界の川下から消費者の認識が低い。

御協力のお願い:

当社は、加工工程中に発生する生地の端材、仕損品などの将来廃棄せざるを得ないものがあります。

デッドストックを有効活用していくには、皆さんの斬新なアイデアが必要です。

『素敵なアイデアで価値あるものに！！』

ご清聴ありがとうございました。

『SDGs』緑豊かな
岐阜を守る合言葉

GiSEN 岐セン
株式会社